

学校番号	24	学校名	静岡県立伊豆の国特別支援学校伊豆下田分校	校長名	早田 公子
------	----	-----	----------------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標 「元気で 仲よく 伸びゆく人」

教育目標の具現化に向けて、児童生徒の生命と健康を尊重し、一人一人の思いを大切にしながら、人との関わりの中で自己実現を支援する教育に努める。そのために、①安全で安心して生活できる学校 ②専門性の高い教育を実践する学校 ③共生・共育の推進と、地域との連携作りを目指す学校 ④働きがいのある学校 という4つの視点を掲げ、「みんなでつくる楽しい学校」づくりを目指す。

(2) 目標具現化の柱

(1) 〈守る〉安全で安心して過ごせる教育環境を作り、児童生徒の豊かな心と健康な体を育む。

- ア 安全・安心に学校生活を送るための体制の強化
- イ いじめ根絶と人権に配慮した指導の徹底
- ウ 学びや生活に適した学校環境の整備及び点検・改善

(2) 〈育む〉児童生徒が主体的に学びあい、一人一人が生きる力を育む授業づくりを実践する。

- ア 主体的・対話的で深い学びを実現する授業の実践
- イ 研修による授業の充実と専門性を高める授業づくりと改善
- ウ 自立と社会参加を目指したキャリア教育の充実

(3) 〈つなぐ〉共生・共育を推進し、児童生徒の社会生活を支える連携作りを行う。

- ア 地域に根ざし、児童生徒の学習課題に応じた共生・共育の推進
- イ 児童生徒にとって有益な支援体制と社会との連携作りを推進
- ウ 地域の特別支援教育のセンター的機能としての情報発信・啓発活動

(4) 〈高める〉教職員がチーム意識を大切にし、働きやすい職場環境を作る。

- ア 「チーム下田」による、全員参加の業務改善
- イ 信頼される学校づくりに向けた意識の向上

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

(1) 〈守る〉安全で安心して過ごせる教育環境を作り、児童生徒の豊かな心と健康な体を育む。

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	安全・安心に学校生活を送るための体制の強化			
	(ア)防災・防犯体制の再確認とマニュアルの見直し	・防災・防犯訓練の計画策定と課題意識を持つての訓練実施 ・防災マニュアルの検討・改善	防災・防犯への備えや個々の役割・行動が確認できた。 防災マニュアルを随時検討し、改善することできた。	防災課
	(イ)危機管理意識と緊急時対応の向上	緊急時を想定した訓練やロールプレイを用いた実践的な訓練の実施	訓練を通して、緊急事態に対する判断や行動への対応ができた。	健康課

様式第1号

イ	いじめ根絶と人権に配慮した指導の徹底			
	(ア)教職員の倫理観の高揚及びいじめ根絶と人権に配慮した指導の徹底	人権教育に関する職員研修会や人権いじめチェックの実施	人権に関する研修会や人権意識を尊重した教育活動を恒常的に展開することができた。	学習指導課
ウ	学びや生活に適した学校環境の整備及び点検・改善			
	(ア)危険個所の点検と改善	毎月の安全点検や日常を通し、危険な箇所の状況確認及び整理整頓の徹底	校内の整理整頓に心掛けた。 危険個所の確認や対応策をとり、状況を共通理解できた。	防災課
	(イ)学校環境の整備	感染症等を防ぐための配慮・環境の工夫	学校の安全配慮について、教職員で共通理解できた。 環境の整備及び感染予防できた。	健康課

(2) **〈育む〉** 児童生徒が主体的に学びあい、一人一人が生きる力を育む授業づくりを実践する。

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	主体的・対話的で深い学びを実現する授業の実践			
	(ア)新学習指導要領を踏まえた指導内容の見直し及び授業の充実	育成すべき資質・能力の習得・向上・定着に向け、教科の観点を入れた年間指導計画の作成	教科等横断的な視点での指導内容と年間指導計画の見直しを行うことができた。	教務課
イ	研修による授業の充実と専門性を高める授業づくりと改善			
	(ア)児童生徒が主体的に学びあい、生きる力を育む授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> 資質・能力の確かな育成を目指した「主体的・対話的で深い学びのある授業づくりの実践」 学習指導案や授業カード・授業評価シートを用いた、一人一授業の実施 中心授業事後研修において、小グループ討議による参加型授業検討会の実施 	提案に沿った一人一授業を各自が行い、授業実践・改善を通して授業力が向上した。 児童生徒のあらわれの見取り方や評価の仕方を、建設的な討議を通して学び合い授業力が向上した。	自立・研修課（研修）
	(イ)特別支援教育にかかわる専門性の向上	内・外講師による学習会や研修出張後の伝達講習の実施	校内外の研修で学んだことを授業づくりや授業改善、児童生徒に生かした。	自立・研修課（研修） （自立）
ウ	自立と社会参加を目指したキャリア教育の充実			
	(ア)卒業後の生活を見据えた指導の充実	講師を招いた進路学習会や施設見学会の実施	進路に関する知識が高まり、小学部段階からのキャリア教育が実践できた。	学習指導課

様式第1号

	(イ) 効果的な個別の指導計画の作成	前年度評価や前籍校の様子を踏まえた的確な個別の指導計画の検討と達成に向けた取組	クラス検討を通し児童生徒の課題から目標を設定し、指導・支援できた。	自立・研修課 (自立)
--	--------------------	---	-----------------------------------	----------------

(3) <つなぐ> 共生・共育を推進し、児童生徒の社会生活を支える連携作りを行う。

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	地域に根ざし、児童生徒の学習課題に応じた共生・共育の推進			
	(ア) 目的に沿った学校間交流と交流籍を活用した交流の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的・効果的な交流及び共同学習の推進と交流籍の実現 ・ペアやグループによる小集団の交流活動の推進及び相互交流の増加 	双方にとって有意義な交流が実施できた。児童生徒自らが、交流校の児童生徒と一緒に活動に取り組むための支援体制を組むことができた。	共生・共育推進委員会 各学部
イ	児童生徒にとって有益な支援体制と社会との連携作りを推進			
	(ア) 学校と地域との連携作りの推進	地域資源を活用した授業や地域の方と一緒に取り組む計画的な地域学習の実践及び協働学習の充実	特別活動・生活単元学習・作業学習等を通し、地域で生きる力につながる交流及び共同学習が実践できた。	各学部
ウ	地域の特別支援教育のセンター的機能としての情報発信・啓発活動			
	(ア) 賀茂地区関係機関や地域とのつながり及び地域の力を高めるセンター的機能の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のニーズに応じた学校公開の実施 ・関係機関と連携した教育的ニーズに応える指導の充実 ・校外からのニーズに対応する校内組織の構築 	本校のセンター的機能の理解が進み、外部からの教育相談や要請に応じた関係機関との支援会議が増えた。	地域連携委員会
	(イ) 教育活動の発信	外部機関、地域、保護者等とのつながりを高めるためのホームページやお便り等の情報発信	学校を理解してもらうための情報を効果的に発信できた。	学習指導課 各学部

(4) <高める> 教職員がチーム意識を大切にし、働きやすい職場環境を作る。

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	「チーム下田」による、全員参加の業務改善	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善の目的の共有 ・会議時間の短縮化や時間設定、工夫等による業務の効率化 ・協働できる組織風土の醸成 	業務の効率が改善し、働きやすい職場環境と感じた。会議の短縮化、効率化が意識できた。	企画会 各学部 各分掌
イ	信頼される学校づくりに向けた意識の向上	コンプライアンス意識を高め、不祥事根絶を推進	不祥事0、交通加害事故0に取り組めた。	企画会 各学部